



## 熊本県の金融経済概観

(2020年5月13日)

### 1. 概況

熊本県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、厳しい状態となっている。先行きについても、当面、厳しい状態が続くとみられる。

最終需要面をみると、個人消費は、減少している。この間、観光は、極めて厳しい状態となっている。住宅投資は、弱含んでいる。また、公共投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、高水準を維持している。

生産面をみると、弱含んでいる。

雇用・所得面をみると、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、弱めの動きがみられ始めている。

この間、3月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は+0.2%と、39か月連続で上昇した。

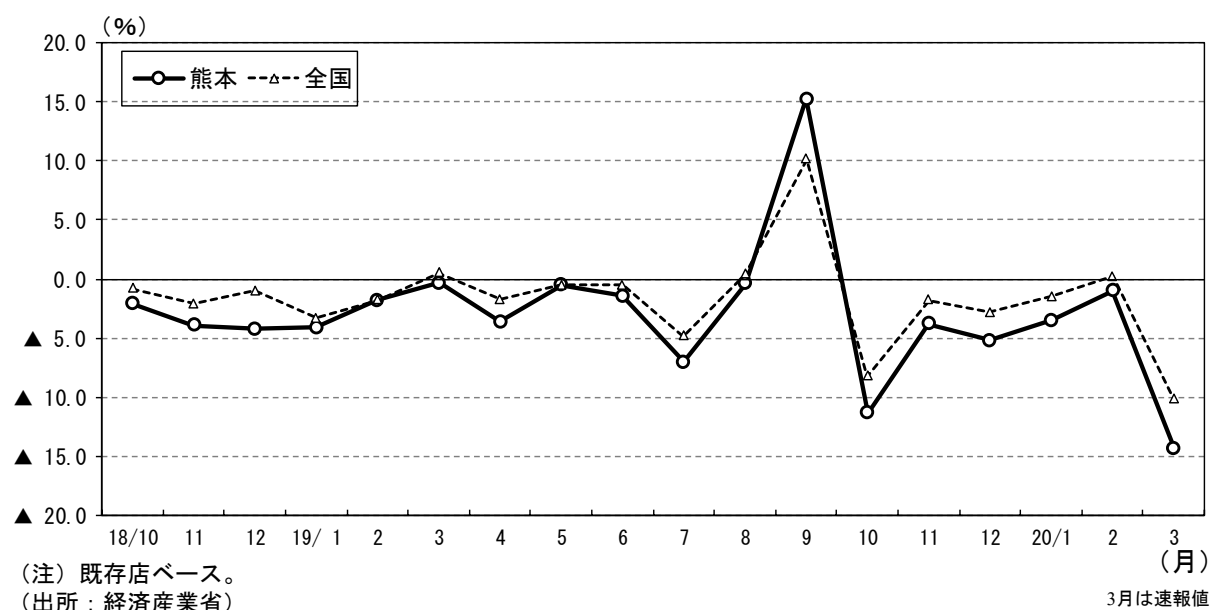
## 2. 個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、減少している。

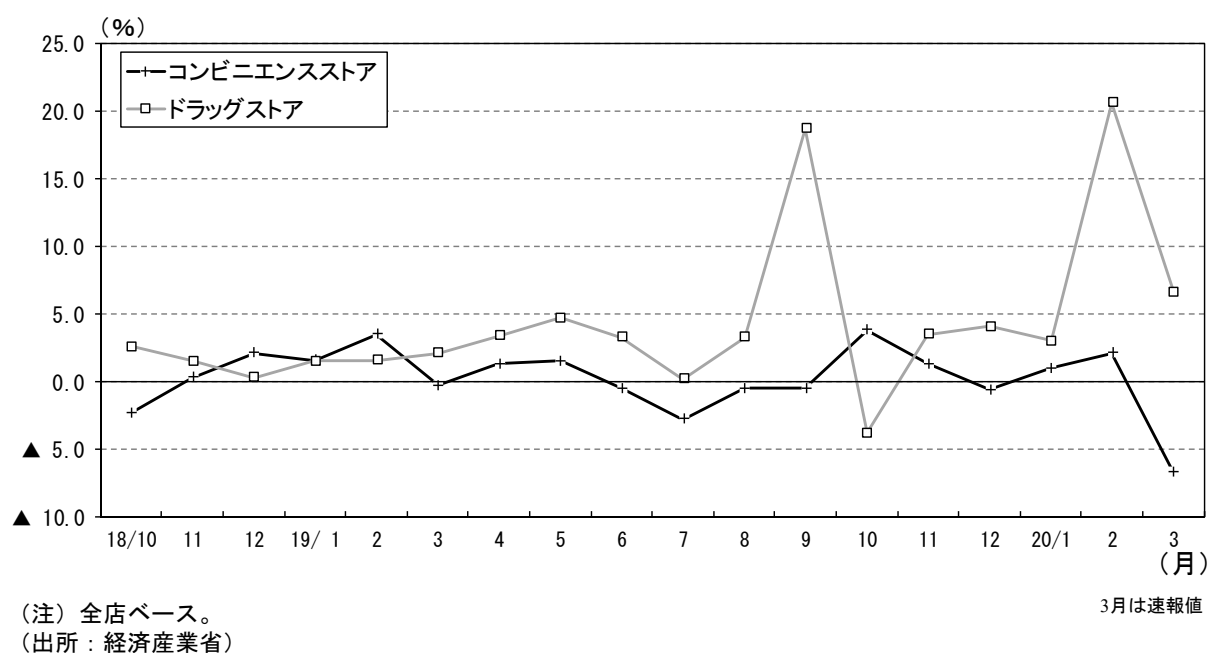
3月の百貨店・スーパー販売額は、来店客数の減少や営業時間短縮の影響から前年を下回った。4月の乗用車の新車登録台数（含む軽）は、来店客数の減少や営業の自粛の影響から前年を下回った。3月の家電販売額は、来店客数の減少や営業の自粛の影響から前年を下回った。

観光は、極めて厳しい状態となっている。

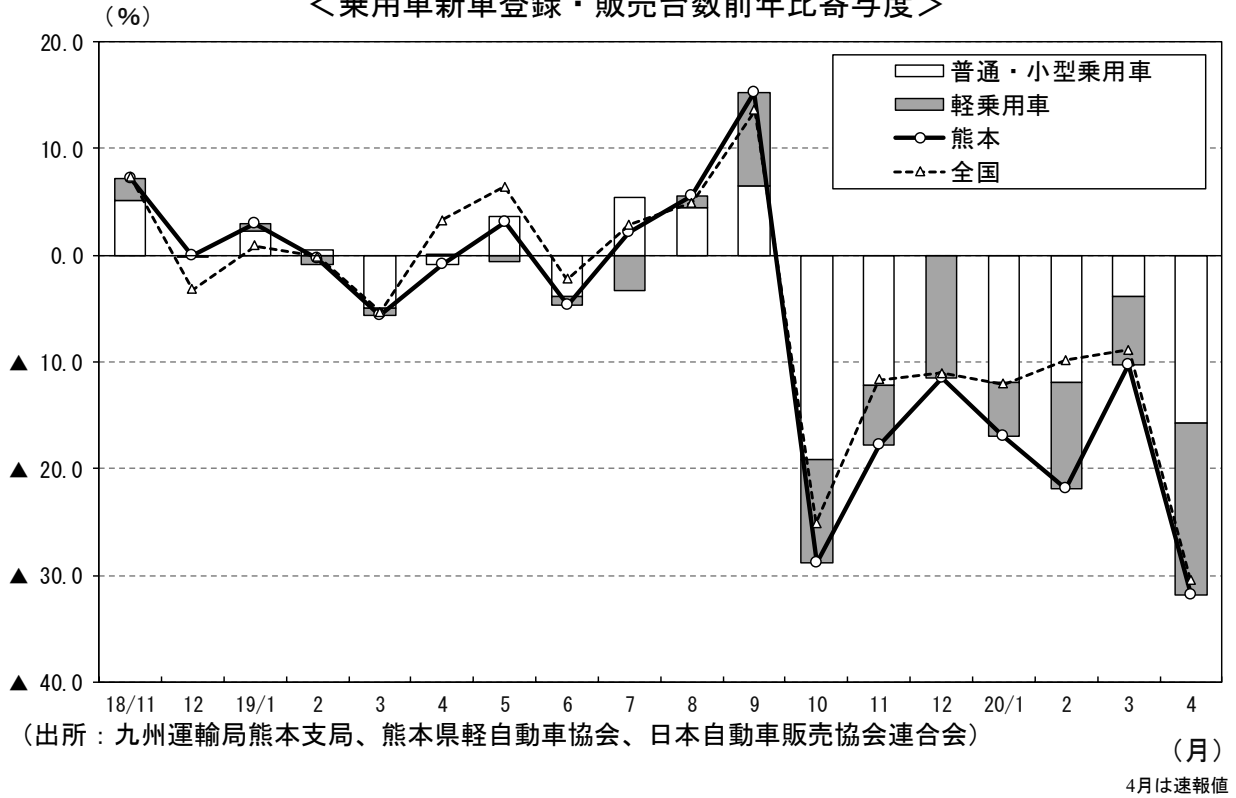
＜百貨店・スーパー販売額前年比＞



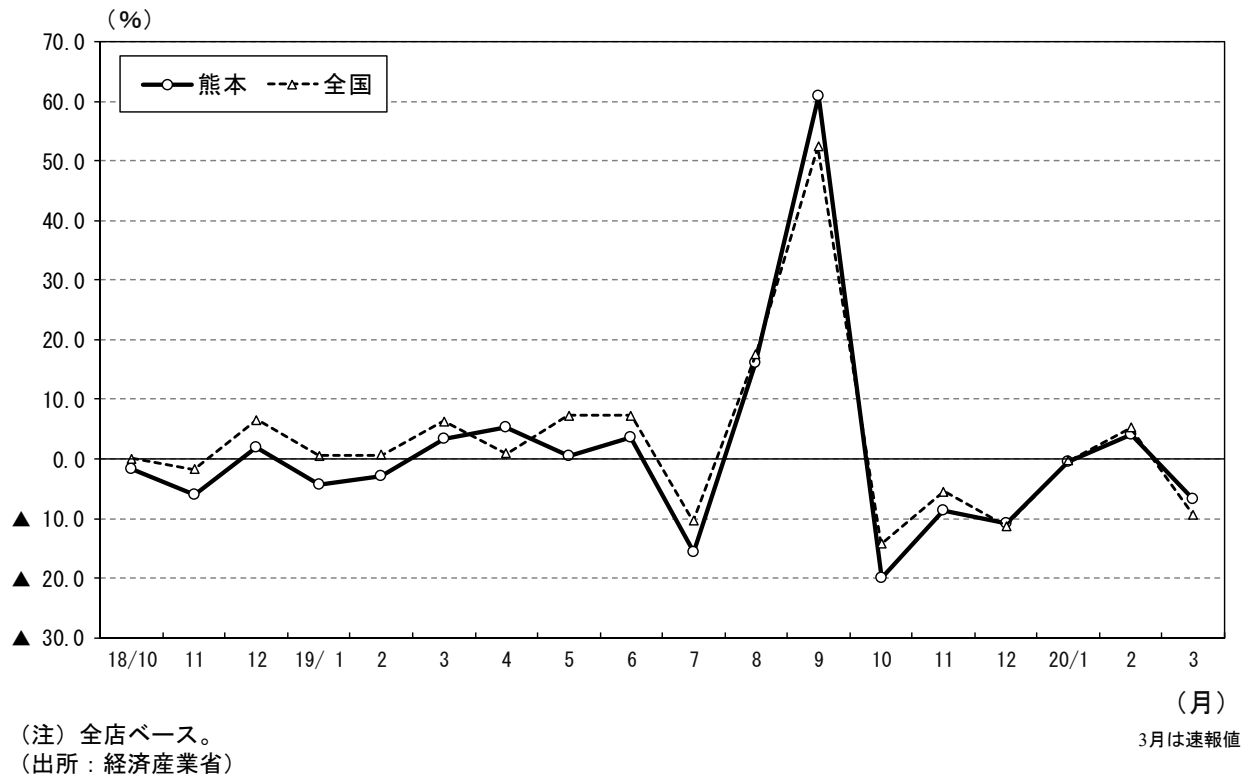
(参考) ＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額（熊本）前年比＞



＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度＞



＜家電大型専門店販売額前年比＞

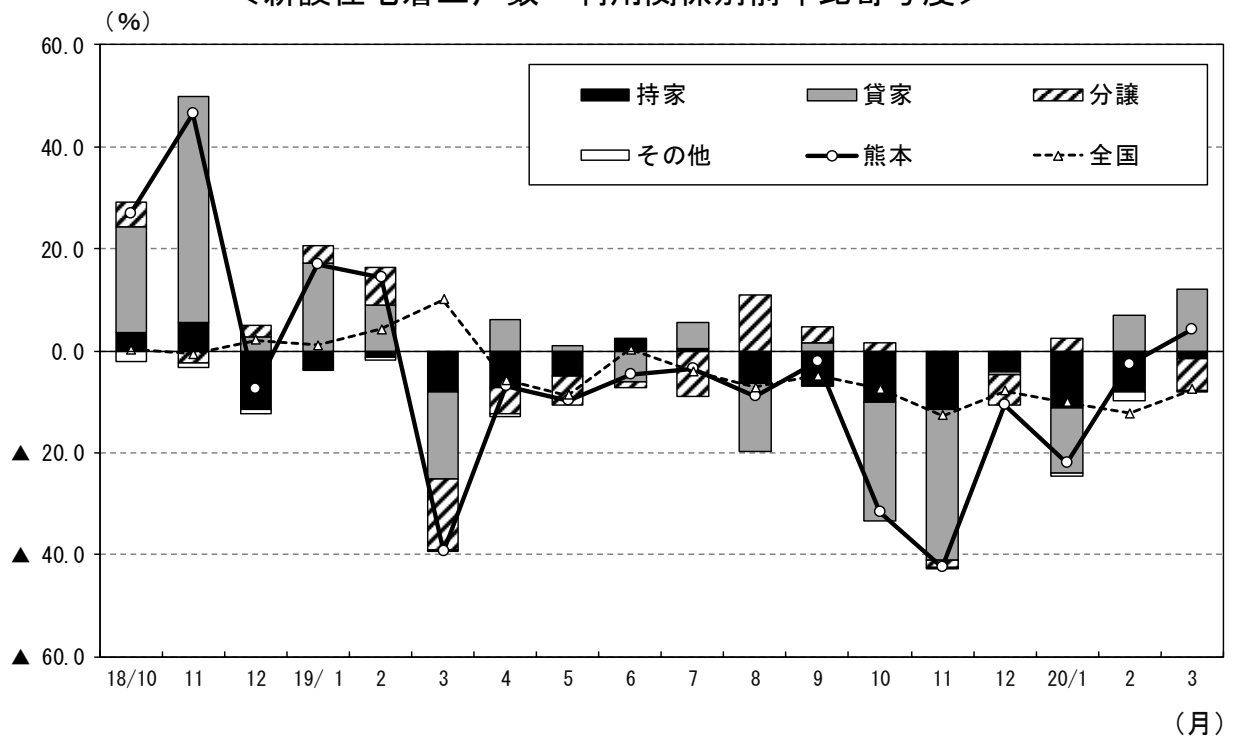


### 3. 住宅投資

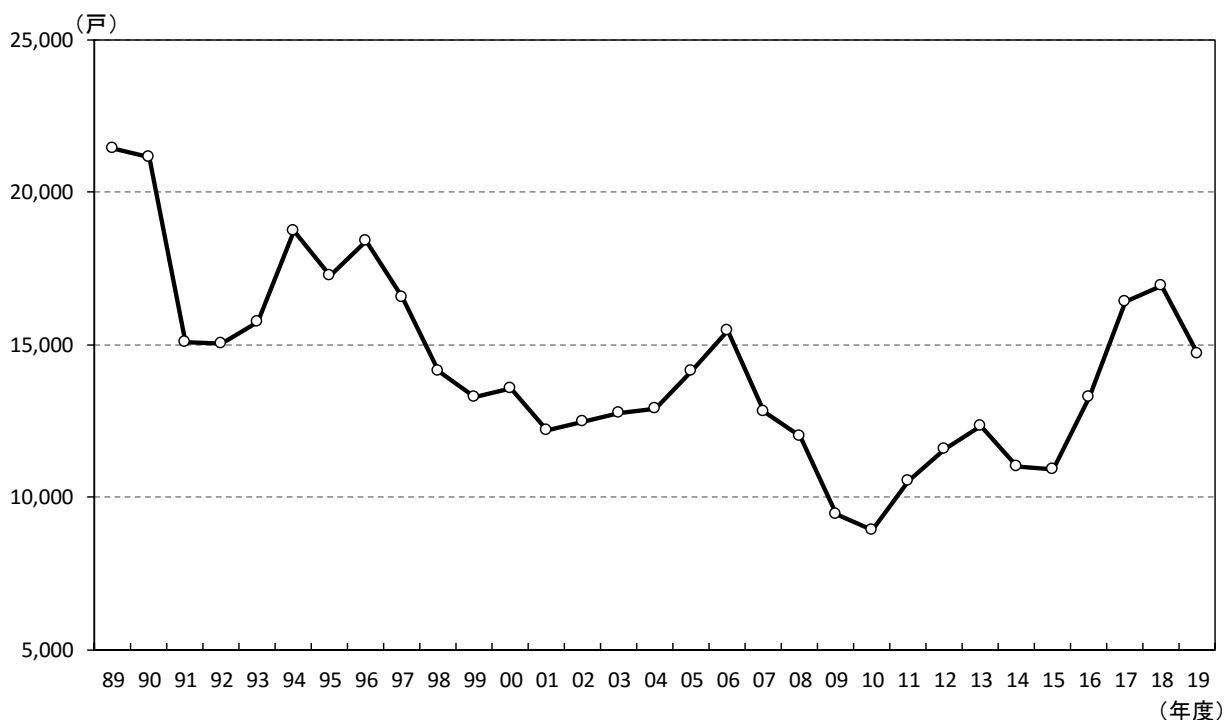
住宅投資は、弱含んでいる。

3月の新設住宅着工戸数は、貸家の増加により、前年を上回った（3月：前年比+4.1%、19/4-20/3月：同▲13.3%）。

＜新設住宅着工戸数・利用関係別前年比寄与度＞



＜新設住宅着工戸数（年度ベース）＞



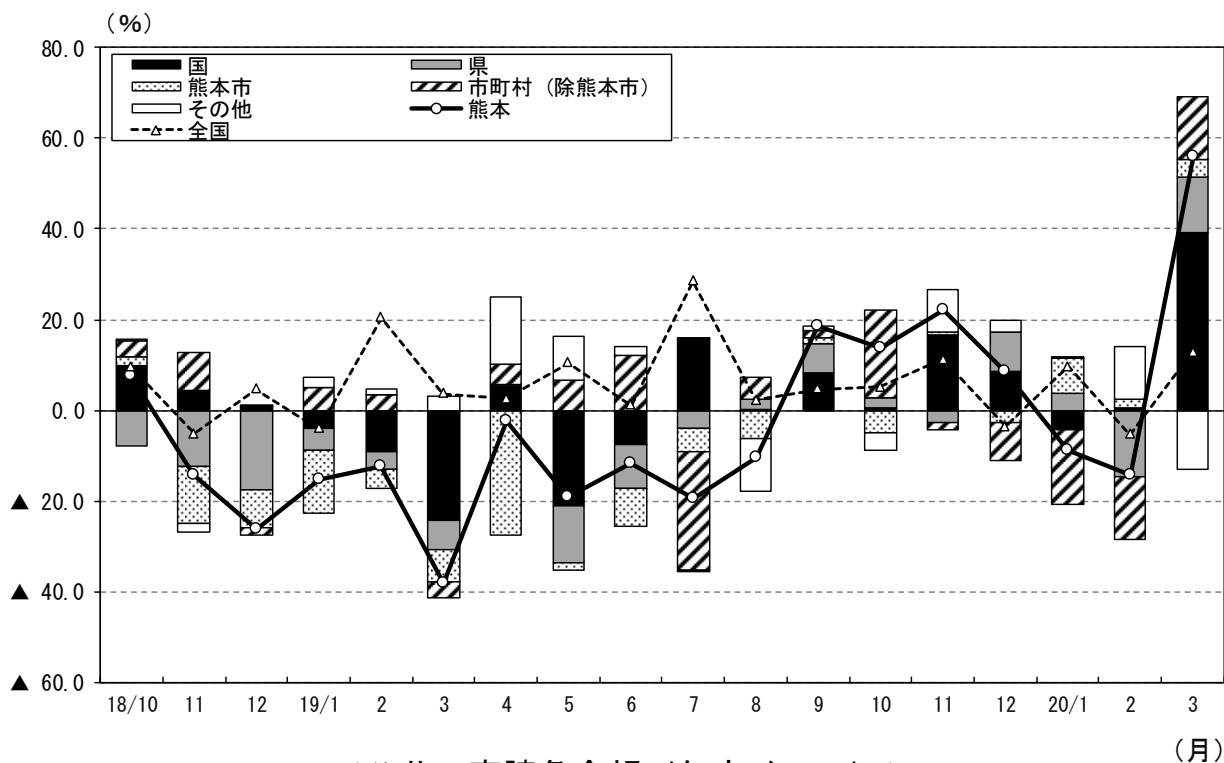
(出所：国土交通省)

#### 4. 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

3月の公共工事請負金額は、国を中心に、前年を上回った（3月：前年比+56.1%、19/4-20/3月：同+2.9%）。

＜公共工事請負金額・発注者別前年比寄与度＞



＜公共工事請負金額（年度ベース）＞

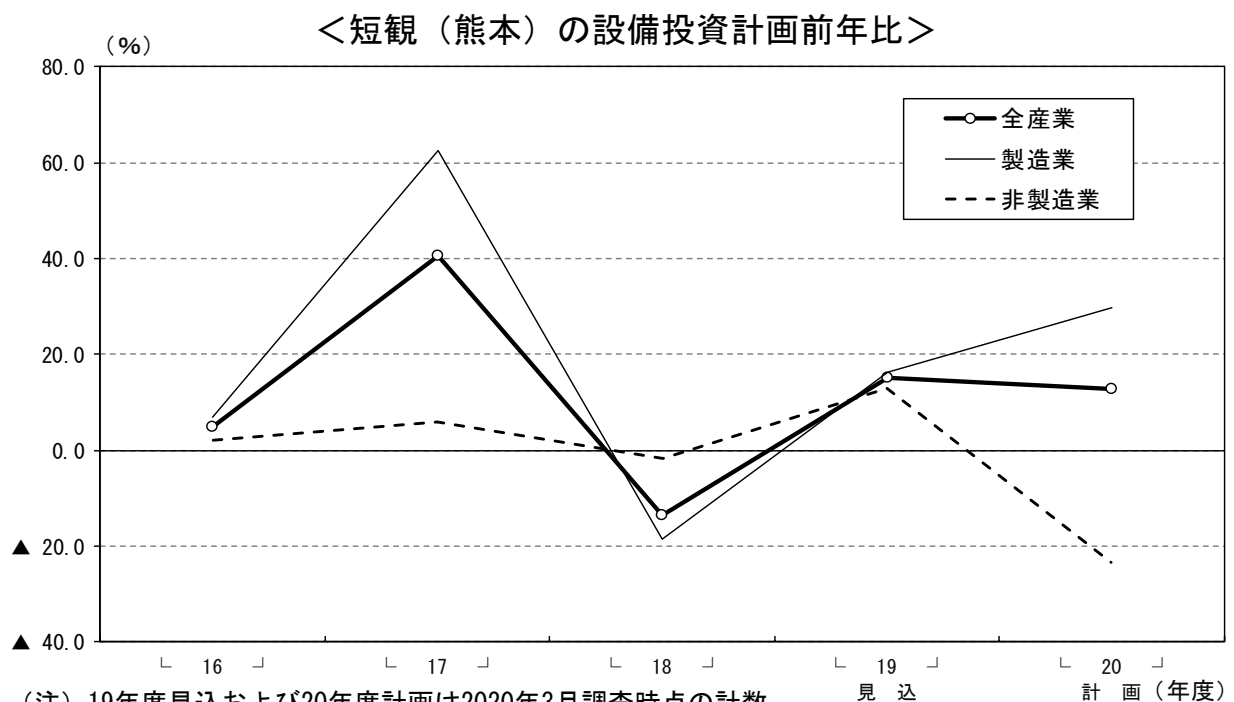
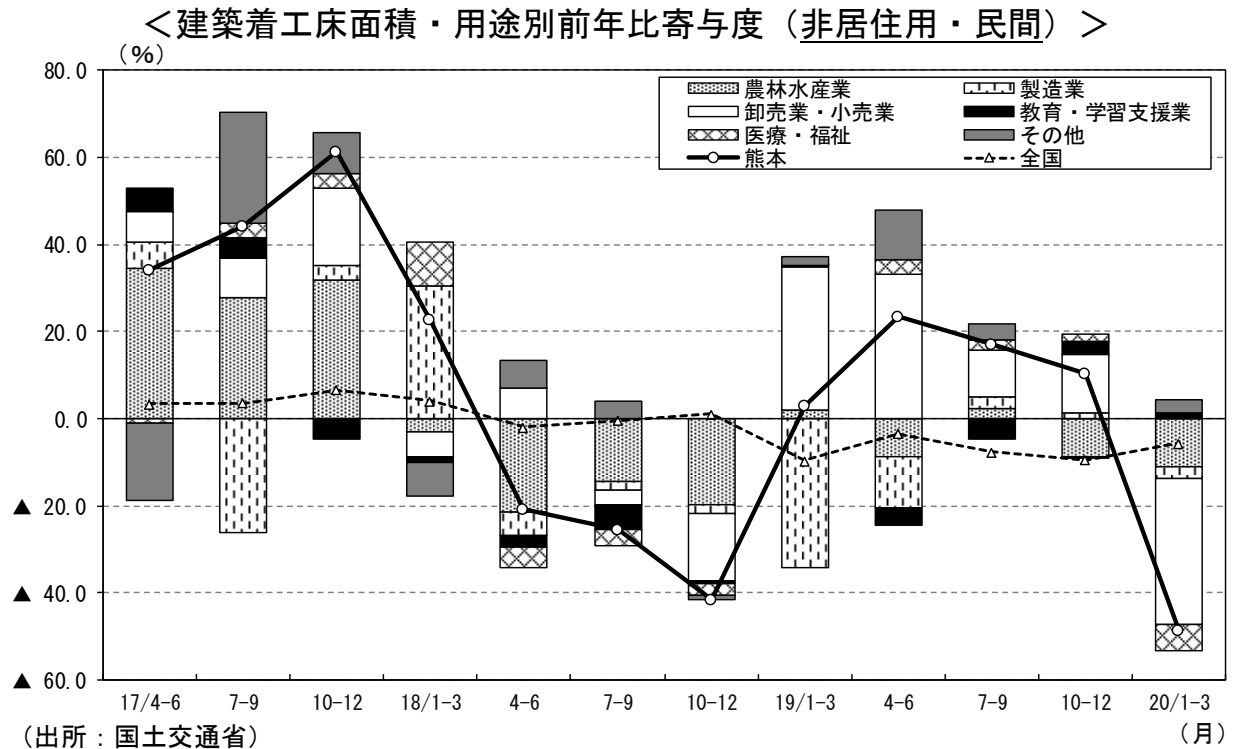


(出所：西日本建設業保証、東日本建設業保証)

## 5. 設備投資（建設投資）

企業の建設投資は、高水準を維持している。

3月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、卸売業・小売業を中心に、前年を上回った（3月：前年比+40.7%、19/4-20/3月：同▲2.5%）。

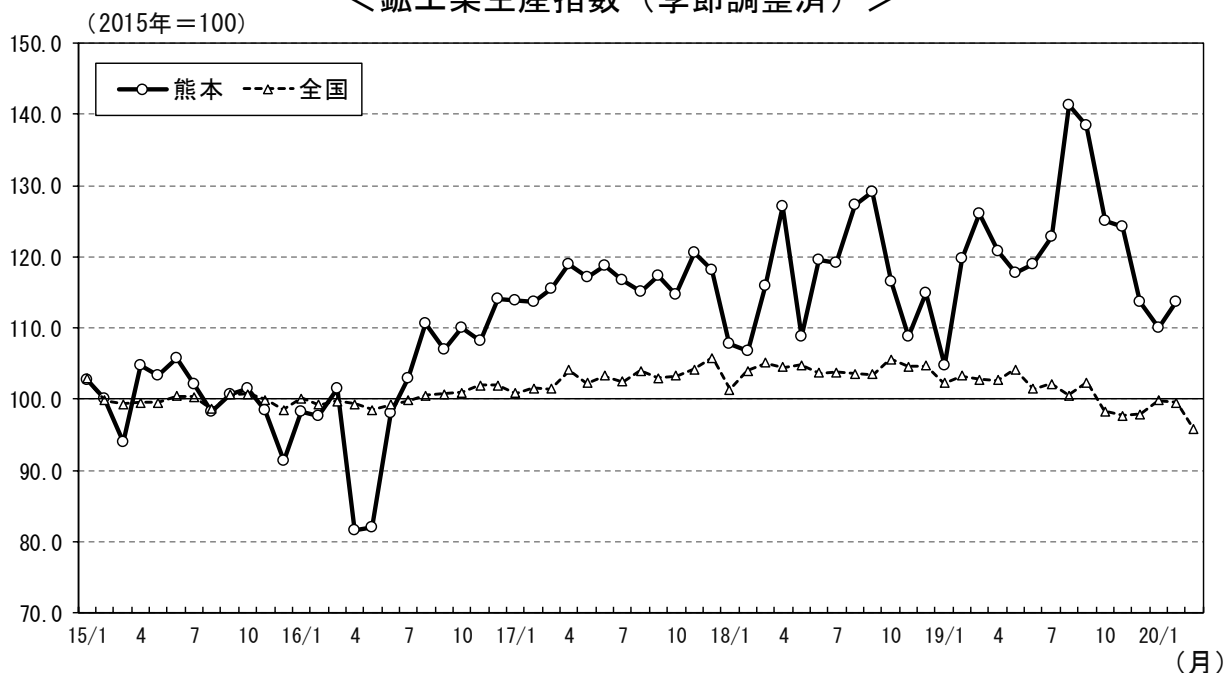


## 6. 生産

生産面をみると、弱含んでいる。

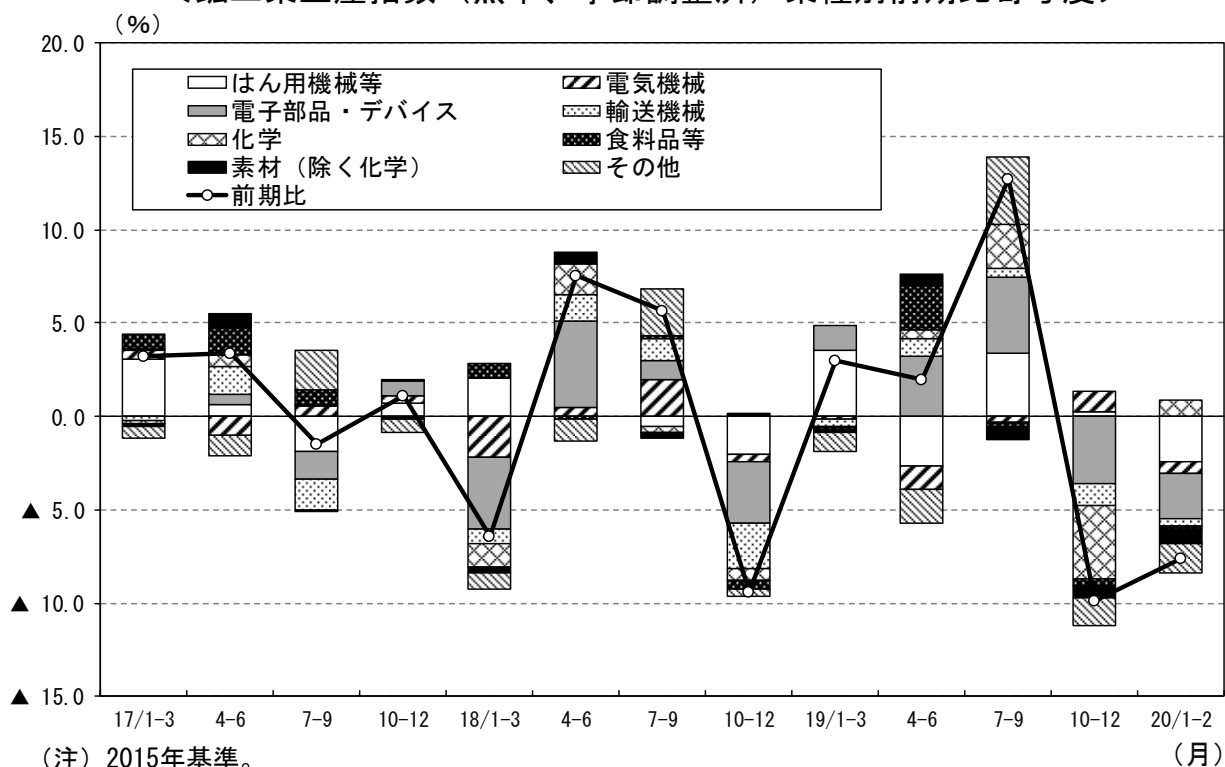
2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、「はん用機械等」を中心に、前月を上回った（2月：前月比+3.2%）。

＜鉱工業生産指数（季節調整済）＞



(注) 全国の2019年計数は、年間補正により改訂（2020年4月）。      熊本の直近は2月、全国の直近は3月（いずれも速報値）

＜鉱工業生産指数（熊本、季節調整済）業種別前期比寄与度＞



(注) 2015年基準。

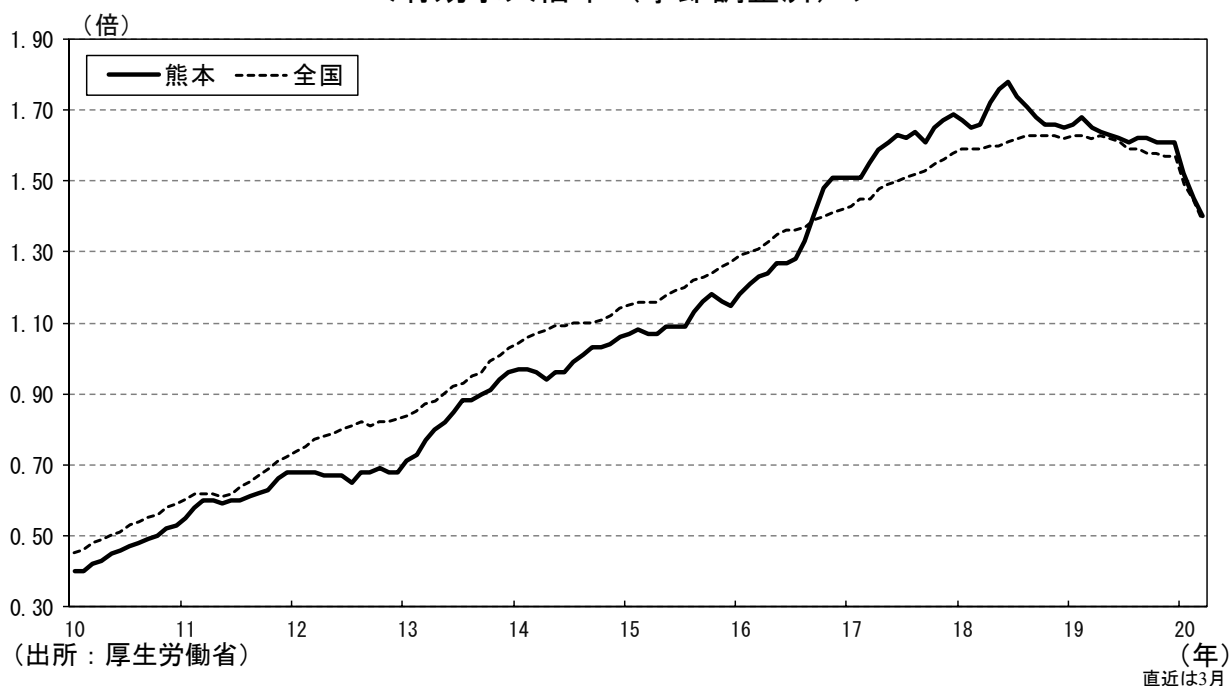
(出所：熊本県、経済産業省)

## 7. 雇用・所得

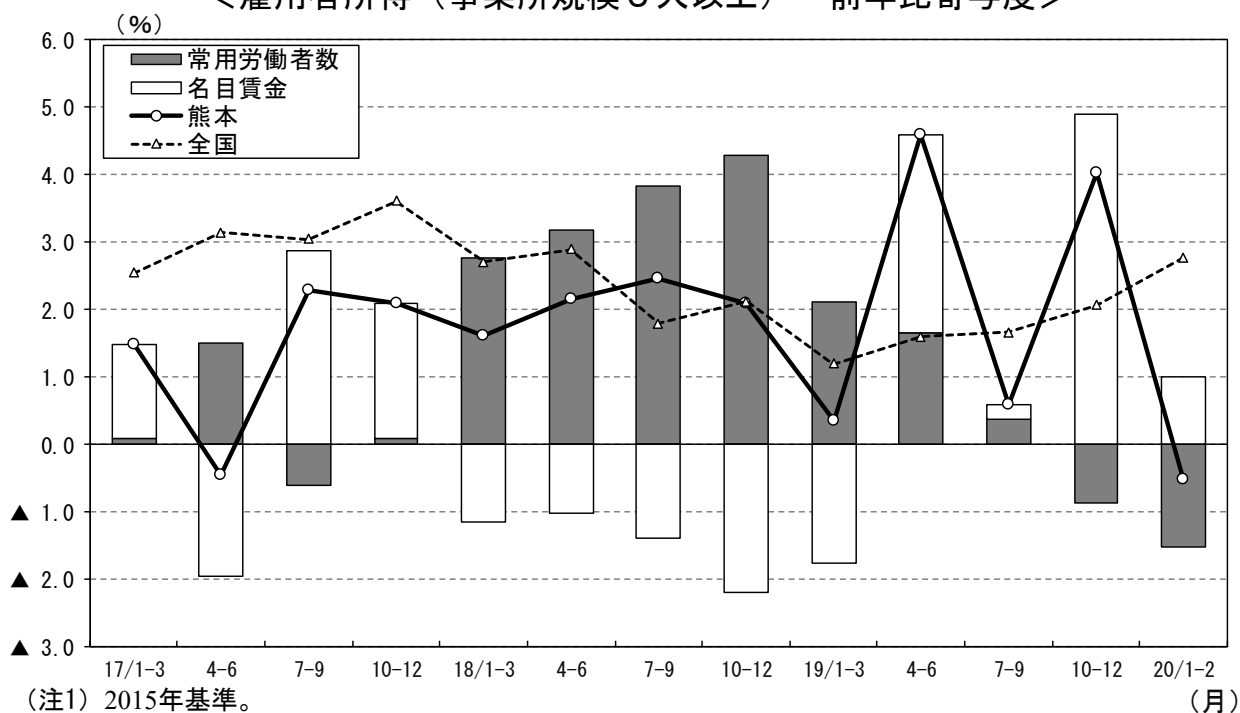
雇用・所得面をみると、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、弱めの動きがみられ始めている。

3月の熊本県の有効求人倍率（季節調整済）は、1.40倍と3か月連続で低下した。

＜有効求人倍率（季節調整済）＞



＜雇用者所得（事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞





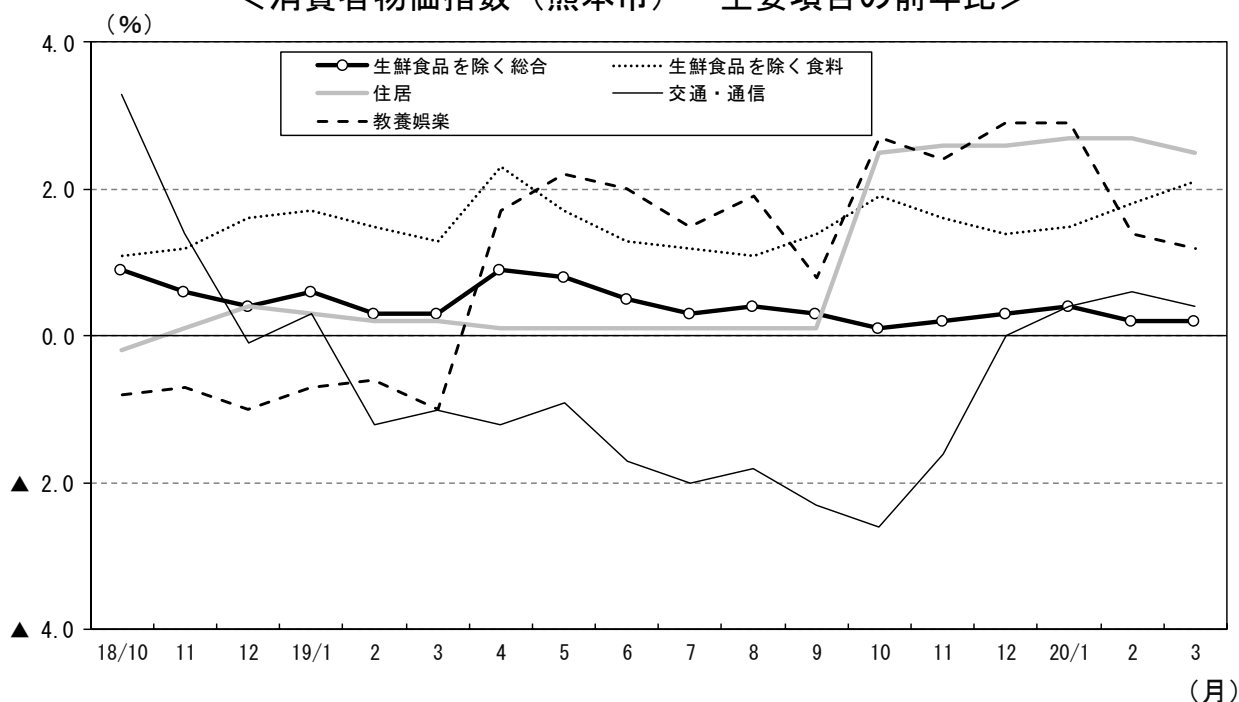
## 8. 消費者物価

3月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は、+0.2%と、39か月連続で上昇した。

＜消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）・前年比＞



＜消費者物価指数（熊本市）・主要項目の前年比＞



（注）2010年12月までは2005年基準、2011年1月～2015年12月は2010年基準、2016年1月以降は2015年基準。

（出所：総務省）

## 9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

3月の預金（実質預金＋譲渡性預金）動向をみると、個人預金を中心に前年を上回った（前年比：熊本県＋0.8%、全国＋3.4%）。

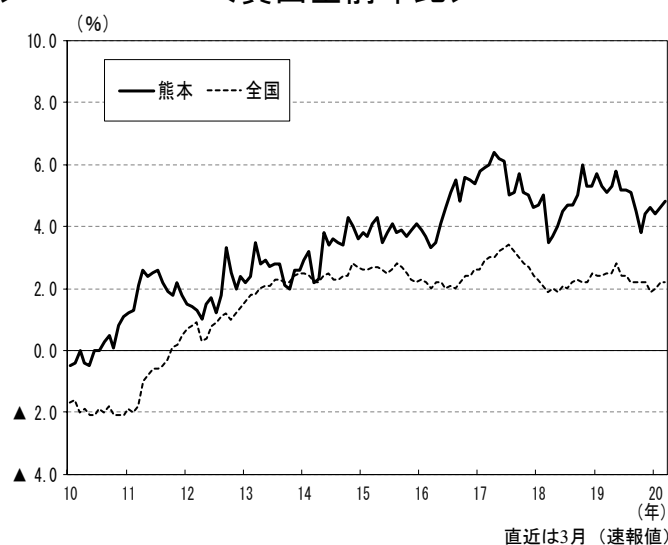
貸出金は、引き続き大きく伸びている（同：熊本県＋4.8%、全国＋2.2%）。内訳をみると、個人向けは、住宅ローンを中心に増加している。法人向けは、新型コロナウイルス感染症に伴う資金需要がみられている。

貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、1.041%と既往ボトムを更新した。

＜預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比＞



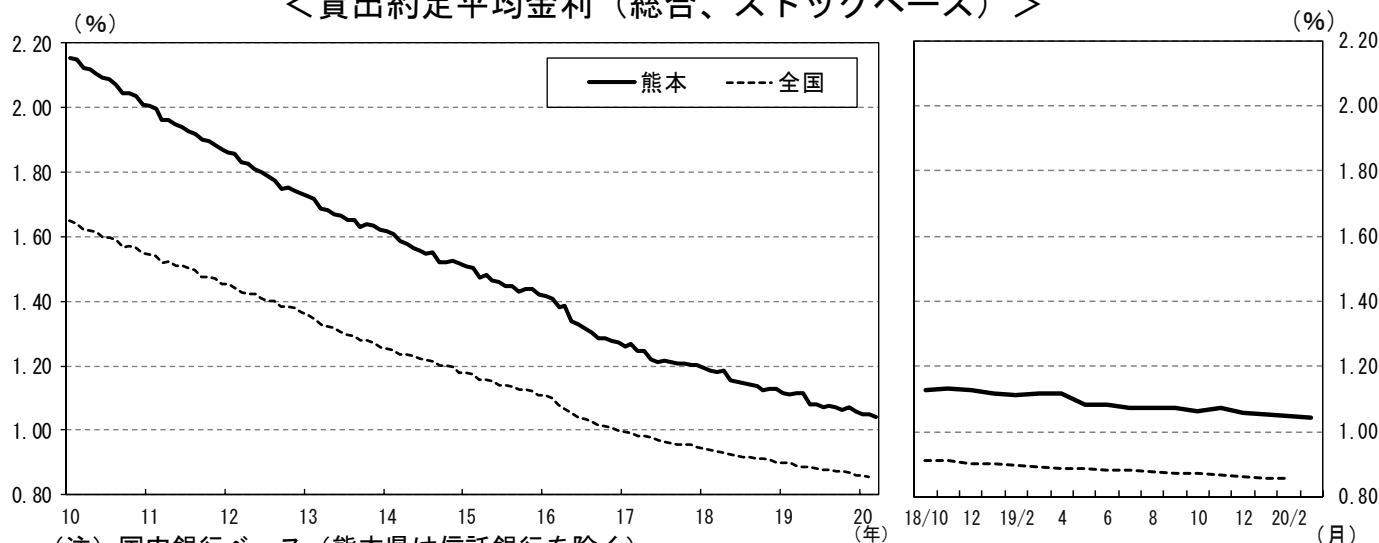
＜貸出金前年比＞



（注1）実質預金＝表面預金－切手手形。

（注2）熊本県は、預金・貸出金ともに銀行（ゆうちょ銀行を含まない）・信用金庫・信用組合の合計で、末残ベース。全国は預金が3業態（都銀・地銀・地銀Ⅱ）計、貸出金が国内銀行計で、いずれも平残ベース。

＜貸出約定平均金利（総合、ストックベース）＞



（注）国内銀行ベース（熊本県は信託銀行を除く）。

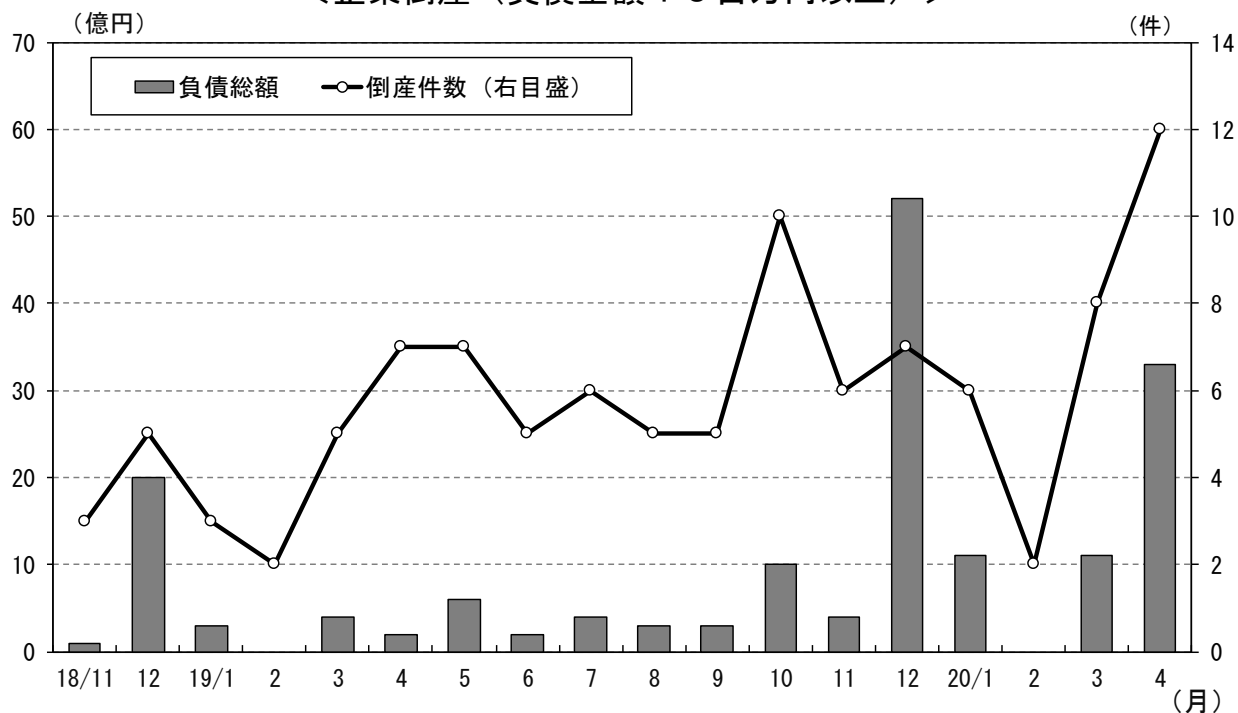
（出所：日本銀行）

熊本の直近は3月、全国の直近は2月

## 10. 企業倒産

4月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

＜企業倒産（負債金額10百万円以上）＞



＜企業倒産（負債金額10百万円以上、年度ベース）＞



(出所：東京商工リサーチ)

以上